

学長からのメッセージ



新潟大学長

下條文武

GEJYO FUMITAKE

平成22年の春に新潟大学を卒業される皆さん、大学院を修了される皆さん、ならびに新潟大学を退任・退職される皆々様に、心からのお祝いを申し上げます。

卒業、大学院修了を祝して

今年も、本学から前途有為な卒業生ならびに大学院修了生を送り出すことができますことを、私たちは大きな喜びとし、誇りに思います。皆さんが、本学を卒業、修了されることは、人生における大きな区切りとなるものです。本学での学生生活を振り返りつつ、皆さんがどのように成長したのか、じっくり思い起こして下さい。これからの皆さんには、将来への夢や希望と共に、不安もあるかと思えます。新潟大学で学んだからこそ得ることができた貴重な体験や経験を自信とし、あらゆることに体当たりで挑戦して欲しいと願っています。失敗から学ぶという積極性を持って、胸を張って新しい環境に飛び込んでいって下さい。

今、社会は、百年に一度という世界的金融・経済危機によって、国民生活は大きな不安を抱えた状況になっております。さらに、高齢化問題や新型インフルエンザの脅威に加え、世界的な異常気象、環境問題、貧困、テロ、民族紛争、など複雑多様な、人類にとって大変大きな課題を抱えています。皆さんは、これらの課題解決の担い手として、志を高く果敢に挑戦し、人々が心豊かで安心して生活できる社会づくりに、それぞれの分野で貢献していただきたいと思えます。皆さんの力によって、これまでとは違った新たな考え方、新たな仕組み、新たな価値を創造することが期待されています。皆さんには、多くの可能性が与えられていますが、何より大切なことはあくまで自分との約束を守り、常に学ぼうとする努力を心掛け、実行することでしょう。皆さんの前途に幸多かれと祈念いたします。

M e s s a g e

退任・退職を祝して

退任・退職される教職員の皆様には、永年にわたり本学に奉職され、それぞれのお立場において献身的にお勤めいただきました。心からの敬意と感謝の意を表するとともに、めでたく退任・退職されますことに、お祝いを申し上げます。

近年の国立大学をめぐる環境は、激動の時代であるといえます。特に、6年前の法人化移行等、数々の困難な課題が立ちふさがってきましたが、皆様の絶大なご尽力により、新たな国立大学法人新潟大学は着実な発展をみております。あらためて深く敬意を表するとともに、心から感謝申し上げます。国立大学を取り巻く環境は引き続き厳しい状況が予想されますが、私どもの新潟大学は、その使命である教育・研究・社会貢献活動の一層の充実に努め、世界に存在感を発揮していく所存です。皆様におかれましては、これからも本学に対する変わらぬお力添えとご支援の程を宜しく願い申し上げます。

本学では、本学の発展と会員相互の親睦を目的として、4年前(平成18年4月)に全学同窓会が結成され、活発な活動が行われております。昨年は、新制新潟大学としての創立60周年の節目を記念し、ホームカミングデイ、記念式典、ノーベル賞を受賞された益川敏英先生をお招きしての記念講演会、上野の山・国立科学博物館での大学サイエンスフェスタ等を全学同窓会との協力で、盛会に開催することが出来ました。

皆様方からは、同窓会活動を含めた様々な形で本学に対し、ご支援とご協力をお願いしたいと思います。どうぞ折にふれて母校・新潟大学を訪れ、恩師、先輩、同僚等との絆を大事にする機会を持っていただきたいと願います。新潟大学は、皆様にとりまして心のふるさと(故郷)として、いつでも、扉を開いて歓迎したいと思っています。

最後に、この度人生の区切りを迎え、新たに出発される皆様方のご健勝とご発展を祈念申し上げまして、送別の辞といたします。

新潟大学で学んだからこそ得ることができた
貴重な体験や経験を自信とし、
あらゆることに体当たりで挑戦して欲しいと願っています。